

国立環境研究所-日本自動車工業会共同コンファレンス
－これからの大気環境を考える－

開催日時：2018年6月26日（火）13:00－18:00（受付開始 12:30）

開催場所：〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 千代田区立日比谷図書文化館 B1

日比谷コンベンションホール（大ホール 定員約 200 名）

交通アクセス <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/#access>

I. 開催趣旨

都市の大気環境に大きな影響を及ぼしてきた自動車排出ガスは、厳しい排出ガス規制の導入により大きく削減され、大気環境も改善されつつあるが、PM_{2.5}や光化学オキシダントなど、残された課題も多い。

また、2016年温室効果ガス排出削減等のための新たな国際的枠組みである「パリ協定」が発効し、今後燃焼起源の発生源は大きな影響を受けると考えられることから、大気汚染対策も新たなステージに入るものと推察される。

このような背景を踏まえ、これまでの自動車排出ガス対策の経緯とその効果を振り返り、今後の大気環境の改善を考える上で、我々は何をすべきかを議論する。

II. プログラム

13:00 開会挨拶 日本自動車工業会 神岡 隆一郎

13:05 開催趣旨説明 国立環境研究所 高見 昭憲

13:15 セッション1 自動車排出ガス対策の効果と大気環境の現状

座長：日本自動車工業会 柴田 芳昭

① 沿道大気のトレンドと日本自動車研究所での研究取り組み

日本自動車研究所 伊藤 晃佳

② ナノ粒子の長期観測 ―自動車排出ガス規制が大気中 PM_{2.5} と個数濃度の低減に効いているか？―

国立環境研究所 藤谷 雄二

14:15 基調講演

2050年に向けた自動車用パワートレインの将来展望

早稲田大学 草鹿 仁

15:05 休憩（15分）

15:20 セッション2 国立環境研究所、日本自動車工業会における大気環境改善への取り組み

座長：国立環境研究所 佐藤 圭

③ 大気改善に向けた研究紹介（VOC成分、チャンバー実験を中心に）

日本自動車工業会 岡山 紳一郎

④ PM_{2.5}の発生源と大気中の動態に関する研究（自動車排気や野焼きを中心に）

国立環境研究所 伏見 暁洋

16:20 セッション3 これからの大気環境改善に向けて

座長：国立環境研究所 大原 利眞

自動車やエネルギーなど、社会の大きな変化が予測される中で、各ステークホルダーから課題や取り組み状況を紹介いただき、今後の大気環境の改善に向けて何をすべきかを議論する。

話題提供（敬称略）

- ・ 国立環境研究所 大原 利眞
- ・ 東京都環境科学研究所 星 純也
- ・ 電気事業連合会 石井 和哉
- ・ 環境省 渡辺 聡

17:55 閉会挨拶

日本自動車工業会 板場 宏治

(18:00 閉会)

申込先 国立環境研究所

メールアドレス： nies_jama_ws2018@nies.go.jp

所属、氏名、メールアドレスをご明記の上お申込み下さい。

申込期限 6月8日金曜日 ※定員（200名）になり次第締め切らせていただきます

注意事項

- ・ 写真撮影、録音はご遠慮願います。
- ・ 室内での飲食は、アルコール以外の蓋付きの飲料のみ可能です。
- ・ 館内は禁煙です。